

せんてんせいびるいかんへいそくしょう
先天性鼻涙管閉塞症

――赤ちゃんのなみだがとまらない――

【先天性鼻涙管閉塞症とは...】

生まれた直後には異常がないのですが、2～3週間すると涙や、めやにがでるようになる病気です。

【原因は？】

鼻涙管（涙を鼻に流す管）の鼻への出口に、生まれつき薄い膜がはっているために起こる病気です。一種の先天異常です。

【治療】

- ①涙嚢マッサージ：生後1～2ヶ月までは、点眼の前後に目の内側を2～3回圧迫するようにします。これで、自然に薄い膜があくこともあります。
- ②ブジー法：生後1～2ヶ月たってもだめな場合には、細い針金を涙点から入れて薄い膜を破ります。

★施行後、少し、涙に血がまじったり、鼻血がでることがありますが、心配いりません。

【治療の効果】

一回のブジー挿入で治ることが多いのですが、効果のない場合には、数回施行することがあります。

また、特殊なチューブを設置する手術を施行することもあります。

【注意点】

結膜炎として扱われていることがあります。赤ちゃんのなかなか治らない結膜炎はこの病気であることが多いので注意が必要です。

日帰り白内障手術施設

眼科 中橋クリニック



7 5 2 - 8 8 1 8